

東日本大震災 沖縄民医連 支援ニュース

第10号 2011年3月29日(火) 電話:098-833-3397



第3陣⇒第4陣 へ引き継ぐ

27日(日)坂総合病院に到着した第4陣(団長・比嘉千明医師ら5人)に第3陣支援隊の任務が引き継がれました。

第3陣の皆さん、本当にお疲れ様でした。

以下、第3陣からの最後の報告です。

第3陣支援隊事務局長：伊波達郎

今日が実質支援の最終日となりました。

昨日と同じで比嘉佳寿さんは日勤、それ以外は避難所まわりとなりました。

本日行った避難所は多賀城文化センターという所で坂病院周辺の避難所では一番大きい場所で1000人近くの方が避難しています。

水が出ず、トイレも流れない事から環境衛生は悪く、ペットも同居という状態で下痢症状の患者さんが数多くいました。自衛隊が常駐し、お風呂やお湯などを提供している状況です。夜間診察の需要が多く、今日は夜8時半まで支援してきました。

様々な避難所に行きましたが、避難所ごとに格差があるように思いました。寒暖の差や水の有無、炊き出しの種類など様々です。

物品に関してはどこの避難所もある程度揃っていましたが、ドライシャンプーや下着類、靴下などはかなりの需要がありました。

避難者の病状に関しては風邪や下痢症状がほとんどで比較的落ち着いているものの、まだまだ医療活動の必要性は十分あり、並行して足浴やマッサージなどが出来ればかなり良いケアが出来るように思います。それから現在、避難者まわりとは別に避難所から自宅へ戻っている方への支援や指定避難所以外の場所へ避難している方々の掘り起こしなど地域まわりも行っています。

院内支援も含めて、第3陣メンバーも精一杯支援が出来たと思います。明日からは今日到着した第4陣メンバーにバトンタッチです。間違いなく活躍してくれると思います。まだまだ支援が必要です。

これからも継続し被災者を支えましょう。

沖縄医療生協 震災支援委員会を設置

震災直後から県連と連携して支援をおこなってきた沖縄医療生協が26日の理事会で、伊集理事長を委員長とする「震災支援委員会」を設置しました。

支援は、全支部・班、全組合員によびかけて、

●物的支援(募金、薬剤、日用品、再建支援隊の派遣など)、●心のエンパワーメント、ビデオメッセージ、エイサー支援隊の派遣などを実施します。

第1陣「支援報告」

DVD(23分)ができました

被災直後の現地までの困難な道程、被災地の現状、不眠不休の支援活動が23分のDVDに収録されました。全事業所に1本ずつ送ります。職員だけでなく患者さんにも見せる方法を工夫してください。